
第30回
日本家族社会学会大会
プログラム

2020年9月12日（土）・13日（日）

オンライン開催

大会日程

オンライン開催

▼第1日 2020年9月12日(土)

10:00~12:30	自由報告(1) ①高齢期 ②出生 テーマセッション(1) 産業・地域変動と家族のライフコース：新たな実証研究の可能性
13:30~15:00	自由報告(2) ③結婚 ④子育て
15:30~17:30	自由報告(3) ⑤学説史・家族史 ⑥子ども支援

▼第2日 2020年9月13日(日)

10:00~12:30	自由報告(4) ⑦親子関係 ⑧共働き テーマセッション(2) ダイアド・データによる家族研究の可能性
13:30~16:00	シンポジウム:〈家族の多様化〉と〈子どもの福祉〉は両立するか

※ 今大会はオンラインで開催します。そのため、懇親会は開催しません。

※ 例年大会中に開催している学会総会は、オンラインライブではなく、会員専用ページでのファイル共有とウェブ上での意見集約の形式で行います。詳細は会員宛メールにてお知らせします。

大会プログラム

第1日目 9月12日(土)

午前の部

10:00~12:30

自由報告(1)

①高齢期

司会 安達正嗣(高崎健康福祉大学), 津田(木村)好美(早稲田大学)

- ①-1 高齢男性の家事实践とライフコース—仙台市におけるインタビュー調査より— 藤田嘉代子(宮城学院女子大学)
- ①-2 NFRJ98・NFRJ08・NFRJ18 からみる高齢期の家事労働における時系列変化 金 允恩(東京大学・院)
- ①-3 家族ケアの代替可能性に関する一考察——高齢者シェア居住のケアの限界に注目して 近兼路子(慶應義塾大学 SFC 研究所)
- ①-4 大都市における高齢者福祉施設とソーシャルキャピタル(韓国大邱広域市の高齢者福祉施設における質的調査を中心に) 金 昌震(札幌大学女子短期大学部)
- ①-5 東アジア高齢者主観的幸福感の規定要因——EASS(2012)に基づいた日中比較研究 朱 安新(南京大学)

②出生

司会 田間泰子(大阪府立大学), 加藤彰彦(明治大学)

- ②-1 出生数1人の女性の分析—日本における動向とその特徴— 守泉理恵(国立社会保障・人口問題研究所)
- ②-2 中国都市部既婚女性の出産意識とその影響要因 畢 舜垚(奈良女子大学・院)
- ②-3 子ども願望の実現性: ドイツにおける世代差・東西差 山本菜月(お茶の水女子大学)
- ②-4 追加出生意欲の時系列変化とその背景 松田茂樹(中京大学)
- ②-5 アジアにおける出生前検査に関する研究の意義と視座 白井千晶(静岡大学)

テーマセッション(1)

産業・地域変動と家族のライフコース: 新たな実証研究の可能性

オーガナイザー・司会 嶋崎尚子(早稲田大学)

討論者 宮本みち子(放送大学名誉教授)

- (1)-1 1930年代の農家における家族周期と家族戦略: 福岡県農会「農家経済調査」パネルデータ分析 前田尚子(名古屋市立大学)
- (1)-2 職縁社会における家族の可変性—石炭産業の転換と労働者家族— 嶋崎尚子(早稲田大学)
- (1)-3 継続的就労女性と働く意味—織物産地の経験をもとに— 木本喜美子(一橋大学名誉教授)
- (1)-4 高度成長期の産業転換と青年たちの人生回顧: 炭鉱閉山50年後のフォローアップ調査 笠原良太(早稲田大学・院)

自由報告 (2)

③結婚

司会 稲葉昭英 (慶應義塾大学), 余田翔平 (国立社会保障・人口問題研究所)

- ③-1 婚前同棲経験の関連要因とその変動 小島 宏 (早稲田大学)
- ③-2 晩婚化と非婚化: 年齢別初婚率の正規分布モデルによる考察 原 俊彦 (札幌市立大学)
- ③-3 親の離婚が子どもに与える影響 永井暁子 (日本女子大学)

④子育て

司会 天童睦子 (宮城学院女子大学), 品田知美 (早稲田大学)

- ④-1 育児期の母親のネットワークによる孤立の解消とエンパ
ワメント——ギャルママはママサーに何を期待したのか 高橋香苗 (明治大学・院)
- ④-2 子育てと健康—東大社研パネルデータを用いた分析— 竹内麻貴 (山形大学)
- ④-3 男性のジェンダー意識とケアへの関与: 東アジアと欧米の都
市圏データの比較から 石井クンツ昌子 (立教大学)
- 多賀 太 (関西大学)
- 伊藤公雄 (京都産業大学)
- 植田晃博 (笹川平和財団)

午後部 2

自由報告 (3)

⑤学説史・家族史

司会 中島満大 (明治大学), 木戸功 (聖心女子大学)

- ⑤-1 1970年代初頭における「セクシュアリティ概念」受容の諸相 柳園順子 (姫路大学)
- L.A.カーケンダールの「新しい性教育」を焦点に—
- ⑤-2 家族社会学における性的少数者研究の学説史化への試み 志田哲之 (早稲田大学)
- ⑤-3 民主的家族における対話と親密性の両立可能性について: 栗村亜寿香 (京都大学・院)
- 1950年代の家族論を中心に
- ⑤-4 有賀喜左衛門における主従関係とモラル —戦前・戦後の 本多真隆 (明星大学)
- 「家」および社会関係の変容を通して—

⑥子ども支援

司会 中根成寿 (京都府立大学), 澁谷智子 (成蹊大学)

- ⑥-1 子どもの家事遂行を規定する要因 —子どもの学齢別にみる母 花形美緒 (お茶の水女子大学)
- 親と父親の関わり方の相違—
- ⑥-2 子ども食堂が形成する社会関係資本: 参加する母子への聞き取 平井華代 (岩手大学・院)
- り調査から
- ⑥-3 施設生活において「家庭」が持つ意味—児童養護施設における 三品拓人 (大阪大学・院)
- フィールドワークから—
- ⑥-4 【報告キャンセル】生活困窮世帯のヤングケアラーに学習支援 松村智史 (東京都立大学)
- がもたらすもの—ケアをめぐる主体・共有・自律性に着目して—

自由報告(4)

⑦親子関係

司会 斧出節子(京都華頂大学), 松田茂樹(中京大学)

- ⑦-1 生前贈与・遺産相続と既婚成人子の親子関係について 村上あかね(桃山学院大学)
- ⑦-2 中国一人っ子世代の親子・親族関係①—婚資と住まいからみる世代間関係— 施利平(明治大学)
- ⑦-3 中国一人っ子世代の親子・親族関係②—結婚・子育てからみる母娘関係と家族のあり方— 陳予茜(明治大学・院)
- ⑦-4 伝統と現代、独立と依頼—中国都市家族の子育てからみた世代間関係の矛盾— 鄭楊(中国哈爾濱師範大学)
- ⑦-5 中国現代都市家族の双系化傾向:CFPS-2016による分析 李雯雯(立命館大学・院)
筒井淳也(立命館大学)

⑧共働き

司会 大和礼子(関西大学), 井田瑞江(関東学院大学)

- ⑧-1 共働き希望の30代独身男性における家事分担意識 柳田愛美(お茶の水女子大学)
- ⑧-2 就業状況と家事—就業地位の継続性と変化の向きに着目して— 不破麻紀子(東京都立大学)
柳下実(東京都立大学・院)
- ⑧-3 共働き妻の相対的資源と働き方、性別役割分業意識 中川まり(東京女子大学)
- ⑧-4 出産前後の就業行動の変化に対する夫婦の相互影響 田中茜(東京大学・院, 日本学術振興会)
- ⑧-5 雇用者による家事・ケア労働者のケア実践の受容—中国都市部を中心に— 翁文静(九州大学)

テーマセッション(2)ダイアド・データによる家族研究の可能性

オーガナイザー・司会 田中慶子(慶應義塾大学)

討論者 吉田崇(静岡大学)

- (2)-1 質問紙調査におけるダイアド・データ調査項目の検討 佐々木尚之(大阪商業大学)
- (2)-2 家族研究におけるダイアド・データの収集と課題 斉藤知洋(国立社会保障・人口問題研究所)
- (2)-3 夫婦を捉える計量的研究の試み:夫婦のリアリティに近づくために 鈴木富美子(東京大学)
- (2)-4 夫婦関係分析におけるダイアド・データ活用の可能性 西野理子(東洋大学)

シンポジウム

〈家族の多様化〉と〈子どもの福祉〉は両立するか

司会 野辺陽子(大妻女子大学), 片岡佳美(島根大学)

趣旨説明

野辺陽子(大妻女子大学)

シンポジスト

元森絵里子(明治学院大学)

「子ども社会学の立場から」

柳原良江(東京電機大学)

「生命倫理学・ジェンダー論の立場から」

町田彰秀(A-Step)

「中途養育の当事者の立場から」

コメンテーター

松本伊智朗(北海道大学)

連絡事項

大会参加登録(事前登録が必要です)

大会参加を希望される会員は、**事前に参加登録と参加費の納付が必要です**。今大会はオンライン開催のため、事前参加登録のみで当日参加登録はありませんので、ご注意ください。

日本家族社会学会第30回大会ホームページから登録してください。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号(数字8桁;上4桁は数字の0、下4桁は会員名簿に記載されている数字)です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

大会参加費 一般会員：2,500円

学生・会費減額申請が承認された会員：無料

*参加登録は必要です。

非会員の場合：一般・学生とも一律 3,000円

*郵便振替の場合の振込み手数料は本人負担となります(上記は手数料抜きの値段)。

● 一般会員の方

大会参加費は2,500円です。大会参加の事前登録と参加費の納付期限は、次のとおりです。

	参加登録期限	参加費納付期限
① Webによる参加登録 +郵便振替による納付	8月31日(月)	8月31日(月)
② Webによる参加登録 +カード支払い	9月7日(月) 24時まで	9月7日(月) 24時まで

郵便振替の場合:

大会費用の郵便振替口座は、Webより参加登録完了後、登録メールアドレス宛に自動配信される受付通知メールに記載されます。第28回大会より、会員への郵便振替票の郵送は廃止しましたので、郵便局に備え付けの払込取扱票を利用して、振り込んでください(他銀行から郵便振替口座へのお振込みも可能です)。

受付通知メールが不達の場合には、早めにヘルプデスク<jsfs-desk@bunken.co.jp>までメールで問い合わせてください。

カードの場合:

Web上で参加登録される際に、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と事前納付が同時に完了となります。

※領収書は、後日、郵送します。

※いずれの場合も、期限を厳守してください。期限を過ぎた参加費等の納付では、オンライン大会に参加できませんのでご注意ください。また、いかなる理由でも、参加費は払い戻しません。

● 学生会員・減額会員の方

参加費は無料です。ただし、**事前参加登録が必要(締切は9月7日(月)24時)です。**

なお、常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は2020年5月31日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ適用となります。

※Webからの事前参加登録時に、システムの仕様上、無料でも決済方法の「郵便振替」か「クレジット決済」のいずれかをご選択いただく必要がございますが、実際には決済ご不要ですので、「クレジット決済」を選択の場合にもカード情報の記入ご不要で参加登録が完了となります。

● 非会員の方

非会員の方は、Web上の申し込みはできません。大会ホームページより、非会員専用の参加申込申請フォーム（Excel形式）に必要事項を記入の上、ヘルプデスク<jsfs-desk@bunken.co.jp>までメール添付で提出してください（大会ヘルプデスクへの提出期間：7月13日（月）～8月31日（月）14時）。ヘルプデスクより参加費納入先をご案内いたします。非会員の方の参加費は、一般・学生ともに一律3,000円です。

大会参加方法

1. web 会議サービス「Zoom」を利用して実施します。

Zoom <https://zoom.us/>

パソコンやスマートフォンにアプリをインストールすることで使用が可能です。インストールの方法や基本的な使い方は、各人にて情報収集の上、ご対応をお願いいたします。

（参考）

澁川幸加氏（京都大学大学院）が、日本教育工学会や情報処理学会の情報をもとに作成・公開した「オンライン学会向け Zoom マニュアル」が参考情報として有益です。

<https://redbuller.hatenablog.com/entry/2020/03/28/022605>

に掲載されている「Zoom マニュアル_配布用」からマニュアルがダウンロードできます。

※なお、Zoom社より、2020年5月30日以降はZoomのバージョンが5.0以上に更新されていない場合には、セキュリティの都合上、ミーティングに参加することができない旨の通知が出されています。以前にインストールをされてから、しばらく使用していないという方は、バージョンを事前にご確認の上、アップデートをお願いいたします。

2. 「Zoom」ミーティング URL などは、参加登録者に別途お知らせします。

参加時に必要なミーティング ID、パスワードは、学会事務局から別途お知らせします。

お知らせは、9月10日（木）に登録のメールアドレスへ発信する予定です。

3. 報告要旨集は、例年どおり大会 HP 上で公開します。

前回大会より、報告要旨集の冊子版を廃止し、電子版の Web 要旨集のみとなっています。

Web 要旨集は、大会 HP 上で9月2日（水）公開予定です。

4. 報告資料のダウンロード方法は、参加登録者に別途お知らせします。

報告資料は、参加者にダウンロードしていただきます。詳細については、別途お知らせします。

[付記] 本資料は、2020年6月の第61回環境社会学会大会運営のために、同学会研究活動委員会により作成された「オンラインによる自由報告の開催にあたって」を参考にさせていただきました。記して御礼申し上げます。